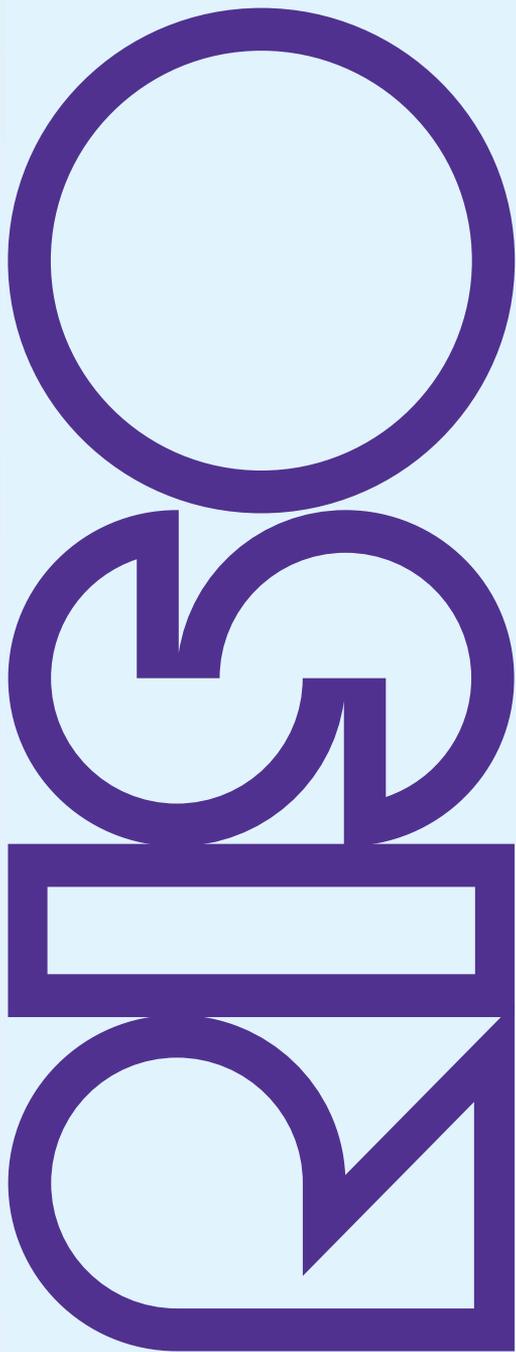


平成19年3月期  
事業報告書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

 理想科学工業株式会社

RISSO  
REPORT  
2007



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに平成19年3月期事業報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当社は、昨年9月2日創業60年を迎えました。また12月28日には東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。これも株主の皆様のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

中期経営計画「Riso Vision 07」の最終年度にあたる平成19年3月期、孔版事業(リソグラフ)は前年を下回りましたが、インクジェット事業(オルフィス)は国内・海外ともに売上を伸ばしました。この結果、為替の好影響もあり、増収増益となりました。配当金につきましては記念配当5円を含め、1株当たり40円とさせていただきます。

当社は、新たに平成20年(2008年)3月期から平成22年(2010年)3月期までの第三次中期経営計画(Riso Vision 10)を策定いたしました(P2参照)。今後も孔版事業の強化とインクジェット事業の成長によって、企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様には今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。



平成19年6月

代表取締役社長  
羽山 明

# 第三次中期経営計画 Riso Vision 10

当社グループでは、インクジェット事業・孔版事業において新規顧客の獲得を重要課題として取り組み、更なる成長を目指します。平成20年3月期から平成22年(2010年)3月期までの第三次中期経営計画は以下の通りです。

## 基本方針

1. インクジェット事業における  
ハード設置の更なる加速

2. 孔版事業における新規顧客獲得

3. 新たな柱となる事業の創出

4. 事業環境変化を先取りした  
開発・技術・製造投資の実行

5. リーダー人材を創出する  
企業風土の醸成

6. CSR活動推進による  
企業価値の向上

## 平成20年3月期 重点課題

1. 直販力の強化及び的確な販売店支援の実施

2. 海外販売子会社の活性化と体質転換

3. 新規事業基盤の構築

4. 品質・安全面に重点をおいた生産活動

5. 内部統制システム構築の推進

・連結売上高 1,000億円 ・連結売上高営業利益率 10% の達成を目指します

# 東証一部上場と創業60周年を機に、 新たなる飛躍を目指す

第二次中期経営計画「Riso Vision 07」が平成19年3月期で終了し、今期より第三次中期経営計画「Riso Vision 10」がスタートしました。「Riso Vision 07」の評価、「Riso Vision 10」の概要、方針などについて社長の羽山明よりご説明いたします。



代表取締役社長 羽山明

## 目標には届かずも9年ぶりに900億円を突破

平成19年3月期が最終年度となった第二次中期経営計画「Riso Vision 07」で当社は、コアビジネスである孔版事業の収益を拡大するとともに、新規ビジネスのインクジェット事業を確立させることで、連結売上高1,000億円、連結売上高営業利益率10%を目指しました。

この目標を実現するため、基本方針として「新規商品開発の加速と開発体制の強化・充実」「孔版事業の更なる拡大への挑戦」「新規インクジェット事業の確立」「低コスト・在庫圧縮を実現する生産物流体制の構築」「将来の発展を牽引する人材開発の実施」「法令の遵守及び環境に配慮した企業運営」の6項目を掲げ、さまざまな改革・革新に取り組んでまいりました。しかしながら、連結売上高は3年間で8.6%増加し、平成10年3月期以来9年ぶりに900億円を上回ったものの、908億円(連結売上高営業利益率5.9%)に終わりました。

## 高付加価値製品の販売で収益力アップへ

平成19年3月期、当社は「孔版事業におけるシェア・収益力の向上」「オルフィスの販売加速の実行」「米国子会社運営の再構築」などを重点課題として取り組みました。

孔版事業では、日本・米州・欧州等の先進国市場において、同時2色印刷機を中心に高付加価値機の販売に注力しました。その結果、国内ではハードウェアの売上は2年続けて増加しましたが、孔版事業全体の売上は伸び悩みました。当社は、今後も高付加価値機の販売に重点を置き、マーケットの拡大とサブライ製品の販売増加を図っていく考えです。

『オルフィス』については、「低ランニングコストの高速フルカラープリンター」というコンセプトは市場に認知され、順調に売上を伸ばしました。平成19年3月期における連結売上高に占めるインクジェット事業の売上高は約15%に上昇いたしました。

## 新たな一步を踏み出すための土台づくり

米国市場においては、急速なカラー化の進展、価格競争の激化、販売会社の買収・統合などを背景に、市場環境は大きく変化しています。当社は、こうした



同時2色印刷機『リングラフMZ970』

変化に柔軟に対応するとともに、同時2色印刷機や『オルフィス』の販売を加速できる体質への転換を進めており、昨年度は新たな一步を踏み出すための土台づくりの年であったといえます。組織の改革や支店・営業所の統廃合、本社サポート体制の強化などにより、販売加速に注力できる体制が整いつつあります。

## 連結売上高1,000億円に再チャレンジ

今期から平成22年3月期までの第三次中期経営計画「Riso Vision 10」では、当社は孔版事業を維持・強化しながらインクジェット事業を大きく伸ばし、連結売上高1,000億円、連結売上高営業利益率10%の達成を目指しています。

そのための最大のテーマが「新規顧客の獲得」です。『オルフィス』は、デジタル印刷機とは違って“フルカラープリンター”であり、そのマーケットも異なります。そのため、既存顧客が持つデジタル印刷機の置き換えや増設だけでなく、デジタル印刷機を利用していない



高速フルカラープリンター  
『オルフィス HC5500A』

あらゆるオフィスがその対象となります。現在、コピーやプリンターなどの静電複写機器市場は、約10兆円規模といわれており、『オルフィス』は需要を飛躍的に拡大する可能性を持っています。発売後3年を経て、販売・技術両面での大幅なレベルアップが図れたいま、直販網（支店・営業所）を強化しつつ、新規顧客の積極的な開拓を図っていく考えです。

### 用途提案で新規顧客の獲得を目指す孔版事業

もちろん、孔版事業においても「新規顧客の獲得」は最重要テーマです。日本・米州・欧州などの先進国市場では、同時2色印刷機などの高付加価値機を積極的に差別化提案してまいります。現在、国内の同時2色印刷機の構成比が2割程度にまで上がっているのに対し、海外ではまだ5%以下という状況です。今後は、既存顧客への置き換えだけでなく、用途提案をしながら新規顧客を開拓し、設置台数の拡大を図っていきます。

また、アジア・中国・インドなどの新興国市場においては、低価格機を中心に設置台数の拡大に主眼を置き、サプライ販売を伸ばして健全な利益体質の確立を目指します。

### 新領域に挑戦する企業文化への転換を図る

もうひとつの戦略テーマは「新たな柱となる事業の創出」です。本年4月1日、本社部門に「新規事業企画推進部」を設置するとともに、「プリントゴッコ」事業と「プリントテクノ」事業を統合し、「プリントクリエイト事業部」として発足させました。これは、多様化する

市場のニーズに迅速かつ的確に応えていくために分離・独立させたものです。RISOならではの、より自由で斬新な発想の新製品・新規事業を生み出していきたいと考えています。

### 安定配当と自社株式の取得に努める

当社は株主の皆様のご期待にお応えするため、企業価値の継続的な向上を目指し、収益拡大に努めています。

利益配分につきましては、企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針に、安定配当の継続と自己株式の取得に努めてまいります。当期の配当金につきましては、5円増配に創業60周年記念配当5円を加え、1株当たり40円とさせていただきます。

当社は昨年12月に東京証券取引所の市場第一部に上場を果たしました。これもひとえに株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援・ご指導の賜物であり、心から感謝申し上げます。

創業60年といえば人間ならば還暦です。還暦といえば新しく生まれ変わるという意味があります。当社は東証一部上場と創業60周年を機に、「孔版・インクジェット分野において独自のプリントソリューションを提供するスペシャリティカンパニー」として飛躍すべく、企業運営のあらゆる側面での革新を図っていく所存です。株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 社会とともに

## 「ISO14001」全社統合認証を取得



「ISO14001」認証書  
理想科学工業株式会社 本社  
(平成18年12月21日認証取得)

昨年12月、当社は環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の全社統合認証を取得しました。

「ISO14001」は、企業が環境に対するリスクを低減し社会の信頼を得るために、国際的に活用されている環境マネジメントシステムの国際規格です。

当社は平成16年12月より、これまで事業所単位で実施していた「ISO14001」の認証取得を全社的な取り組みに拡大し、全社環境マネジメントシステムの構築に着手してきました。今回の全社統合認証取得により、本社ならびに国内営業本部（52拠点）、開発・製造など7事業所での取得が完了しました。

今後も当社は、CSR（企業の社会的責任）活動推進の一環として、環境保全活動の継続的改善に努めてまいります。

## 「エコプロダクツ2006」に出展

当社は、地球環境保全に関する取り組みをより多くの方々にご紹介するため、国内最大級の環境総合展示会「エコプロダクツ」に毎年出展しています。昨年12月に開催された「エコプロダクツ2006」には、民間企業のほかNPO・NGO・大学・行政機関を含む様々な分野から550を超える企業と団体が出展。開催3日間の来場者数は過去最多の15万人となりました。

「RISOエコツアー2006－デジタル印刷機におけるリユース・リサイクルの取り組み－」と題した当社ブースでは、市場から回収された使用済みの『リソグラフ』が分解・洗浄・組み立てを経て再びお客様のもとに届けられる様子を紹介。使用済み『リソグラフ』1台分すべての実物パーツをリユース・リサイクル・廃棄に分け、大パネルでわかりやすく展示しました。



東京ビッグサイトで行われた「エコプロダクツ2006」

## おかげさまで、理想科学は 東証一部に上場いたしました

当社は昨年12月、東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。皆様のご愛顧とご支援を心よりお礼申し上げます。これにより当社株式は同取引所とジャスダック証券取引所の2市場において売買が可能となりました。

上場当日は、東京証券取引所15階において上場通知書の贈呈式が執り行われ、当社代表取締役社長の羽山明に通知書が授与されました。その後、東証アローズにて、上場記念のセレモニーが開催されました。

当社は今後とも新しい技術分野へと積極的にチャレンジし、魅力のある製品・サービスを提供し続けてまいります。これからも株主の皆様からの一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



東京証券取引所で上場通知書を受ける羽山社長(写真右)

## 「創業60周年記念特別展示会」をはじめ、 さまざまな展示会でプリントソリューションを提案

当社は、さまざまなフェアやイベントへ積極的に出展しています。また全国各地で自社による展示会を開催しています。会場では来場される皆様に、実演を通じて高速デジタル印刷機『リソグラフ』や高速フルカラープリンター『オルフィス』のプリントスピードやランニングコストの低さ、画質の鮮明さを実感いただき、プリント環境や用途にあわせたソリューションを提案しています。

平成19年3月期においては、昨年11月から本年2月末まで「創業60周年記念特別展示会」を全国約70会場にて開催しました。各地の展示会場では『オルフィス』はじめ、『リソグラフ』の最新ラインアップを一堂に展示。実演を交えてのご提案に加え、迫力ある映像を用いた紹介を行いました。

今後とも、当社はお客様に最適なプリントソリューションを提案してまいります。



東京・表参道ヒルズで開催した  
「創業60周年記念特別展示会」の様子(平成18年11月)

## 新興国向けデジタル印刷機 『RISO CZ180』を新発売

当社は、中国市場を中心とした新興国向けデジタル印刷機の新たなラインアップとして、『RISO CZ180』を開発しました。本年2月から中国で販売を開始し、今後は東南アジア、中南米、アフリカ、東欧などに販売を広げていきます。

『RISO CZ180』は、印刷機としての基本性能を充実させ、さらに小型化・低価格化を実現した新興国専用モデルです。毎分最高130枚のプリントスピード、拡大・縮小機能、原稿の種類に応じて選択できる画質の読み取りモードなどを備えています。また、今後のIT化を視野に入れた設計により、ネットワークプリンターとしても拡張可能です\*。

平成12年発売の新興国市場に特化した低価格機『RISO KSシリーズ』に続き、主にプリント需要が大きい学校市場及び官公庁市場を中心に販売を展開しています。

\* 別途オプションが必要



新興国向けデジタル印刷機  
『RISO CZ180』

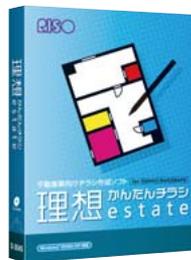
## 不動産業向けチラシ作成ソフトを新発売

当社は昨年12月、不動産業向けチラシ作成ソフトの第二弾として『理想かんたんチラシestate (エステート)』を発売しました。

この製品は不動産業務には欠かせないチラシや店頭物件案内・間取図を簡単な操作で効率よく作成できるソフトウェアです。50種類を超えるテンプレートの中からデザインを選択し、物件情報を入力するだけでチラシや店頭物件案内が作成できます。また、間取図作成のためのパーツも多数揃い、さまざまな物件に対応可能です。

さらに新機能として地図作成機能を搭載しており、物件などへの分かりやすいシンプルな案内図が地図ソフトを使わず手軽につくれます。

作成したデータは、『オルフィス』や『リソグラフ』で出力することにより、高速・低ランニングコストで処理でき、物件情報を迅速にお届けすることができます。



さまざまな物件に対応可能な不動産業向けチラシ作成ソフト  
『理想かんたんチラシestate (エステート)』のパッケージ

## ■ 経営の実績－当期の概況

当社グループは、中期経営計画の最終年度にあたる今期、「孔版事業におけるシェア・収益力の向上」「オルフィスの販売加速の実行」「米国子会社運営の再構築」「新規商品開発、新規事業企画推進の加速」の4項目を重点課題として運営してまいりました。

「孔版事業におけるシェア・収益力の向上」に関しては、同時2色印刷機『MZシリーズ』の上位機種として600dpiの高解像度を実現した『リソグラフMZ970』を発売しました。また中国市場を中心とした新興国向けに小型化・低価格化を実現した『RISO CZシリーズ』を上市しました。さらにインド経済の今後の成長に柔軟に対応し事業の拡大を図るため、インド現地法人を設立しました。

「オルフィスの販売加速の実行」に関しては、市場のすそ野を広げより多くのお客様のカラーニーズに応えるため、導入コストを抑制したプリントチャージシステムを国内市場に導入し、その専用機として『オルフィスHC5500A』を発売しました。

「米国子会社運営の再構築」に関しては、現地経営陣の刷新を図り、人件費・経費の見直しにも着手しました。

以上のような活動の結果、売上高は為替の好影響もあり、908億6千3百万円（前期比3.7%増）、営業利益は53億7千9百万円（同11.8%増）、経常利益は51億3千9百万円（同12.9%増）、当期純利益は29億7千7百万円（同38.2%増）となりました。

当期の販売実績を地域別に見ますと、国内ではリソグラフ販売は前年を下回りましたが、オルフィス販売は順調なサプライ販売に支えられ、売上を伸ばすことができました。その結果、売上高は不動産その他事業も含め480億1千3百万円（前期比3.4%増）となりました。

米州では、リソグラフ販売は前年を下回りましたが、オルフィス販売は順調に推移しました。この結果、為替の好影響もあり売上高は133億9千6百万円（同2.7%増）となりました。

欧州では、先進国でリソグラフ販売が前年を下回りましたが、オルフィス販売はフランス子会社を中心に伸ばしました。この結果、売上高は為替の好影響もあり192億6千3百万円（前期比8.2%増）となりました。

アジアでは、東南アジアはほぼ前年並みの成果をあげることができましたが、中国はリソグラフ販売が競争激化の影響を受け前年を下回りました。この結果、売上高は101億9千万円（前期比1.3%減）となりました。

当期の配当金は、5円増配と創業60周年記念配当5円を加え、1株当たり40円とさせていただきます。

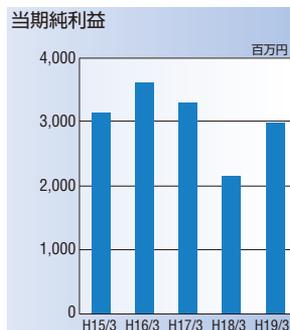
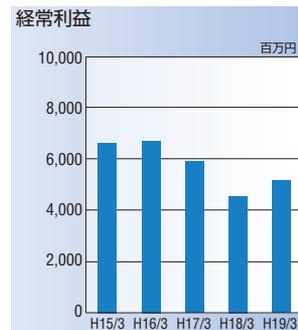
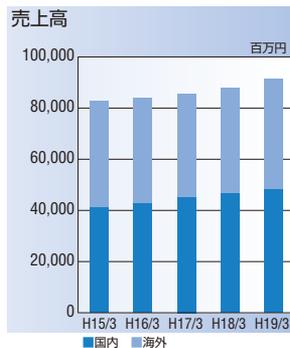
## ■ 次期の見通し

次期の見通しにつきましては、リソグラフ関係は、先進国では同時2色印刷機等の高付加価値機の販売に注力し、新興国市場では『RISO CZシリーズ』等の低価格機を中心とした販売により収益力の向上に努め、企業体質の強化を図ってまいります。オルフィス関係は、国内では従来のプリントチャージシステムに加え、モノクロのプリントを中心に使用するお客様向けに新メニューを追加し更なる拡販を図る所存です。

次期の業績見通しは、売上高940億円（前期比3.5%増）、営業利益65億2千万円（同21.2%増）、経常利益61億7千万円（同20.1%増）、当期純利益38億4千万円（同29.0%増）を予定しております。

なお、次期業績見通しにおける為替レートは、米ドル113円、ユーロ152円を前提としております。

## 業績ハイライト(連結)



		平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期
売上高	(百万円)	82,414	83,666	85,161	87,601	90,863
国内	(百万円)	40,978	42,430	44,933	46,431	48,013
海外	(百万円)	41,436	41,235	40,228	41,170	42,849
営業利益	(百万円)	6,918	8,353	6,574	4,812	5,379
経常利益	(百万円)	6,619	6,680	5,883	4,552	5,139
当期純利益	(百万円)	3,124	3,604	3,280	2,154	2,977
自己資本当期純利益率	(%)	5.2	5.8	5.1	3.2	4.2
純資産	(百万円)	60,905	63,732	65,834	68,978	71,354

(注) 平成18年3月期以前の数値につきましては、従来の「株主資本当期純利益率」を「自己資本当期純利益率」、  
「株主資本」を「純資産」として表記しております。

# 財務諸表の概要 (連結)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

## ■ 貸借対照表

### (資産の部)

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成18年3月31日	平成19年3月31日
流動資産	69,846	73,619
現金及び預金	30,734	29,572
受取手形及び売掛金	16,917	17,570
有価証券	3,311	8,040
たな卸資産	15,037	13,914
その他	4,139	4,760
貸倒引当金	△294	△238
固定資産	48,599	47,430
有形固定資産	32,037	31,296
建物及び構築物	8,333	8,022
機械装置及び運搬具	1,847	1,982
土地	14,873	14,873
その他	6,982	6,418
無形固定資産	2,332	2,459
ソフトウェア	1,403	1,774
その他	929	685
投資その他の資産	14,229	13,674
投資有価証券	8,704	7,266
その他	6,556	7,215
貸倒引当金	△1,030	△807
資産合計	118,446	121,049

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 40,570 百万円

### POINT 1

受取手形及び売掛金、支払手形及び買掛金、その他(流動負債)  
当決算期末日は銀行休業日のため、未決済分が含まれています。

### POINT 2

有価証券、投資有価証券  
投資有価証券から有価証券へ科目振替しました。

### (負債の部)

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成18年3月31日	平成19年3月31日
流動負債	28,449	31,492
支払手形及び買掛金	13,150	15,444
短期借入金	6,305	5,805
一年内返済予定の長期借入金	51	9
その他	8,942	10,232
固定負債	20,869	18,202
転換社債	16,675	14,091
長期借入金	112	104
その他	4,082	4,007
負債合計	49,318	49,694

### (純資産の部)

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成18年3月31日	平成19年3月31日
株主資本	66,664	68,557
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	40,384	42,532
自己株式	△2,614	△2,868
評価・換算差額等	2,313	2,630
その他有価証券評価差額金	2,205	1,706
為替換算調整勘定	108	923
少数株主持分	149	166
純資産合計	69,127	71,354
負債、純資産合計	118,446	121,049

(注) 会社法施行に伴い、当期より従来の資本の部を純資産の部として表示しております。前期にしましては、項目を組み替えて表示しております。

### POINT 3

転換社債  
買入消却を実施しました。

## ■損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日
<b>売上高</b>	87,601	90,863
売上原価	42,351	44,452
売上総利益	45,249	46,410
販売費及び一般管理費	40,437	41,031
<b>営業利益</b>	4,812	5,379
営業外収益	798	736
営業外費用	1,058	975
<b>経常利益</b>	4,552	5,139
特別利益	—	—
特別損失	25	—
<b>税金等調整前当期純利益</b>	4,527	5,139
法人税、住民税及び事業税	2,642	2,083
法人税等調整額	△277	68
少数株主利益	7	10
<b>当期純利益</b>	2,154	2,977

### POINT 4

#### 売上高

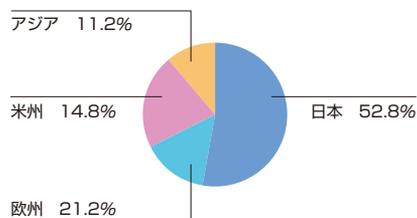
当期は、円安で推移しました。前期為替レートで再計算すると売上高は1.1%の増収となります。

## ■キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,365	10,053
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,539	△6,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	△903	△4,293
現金及び現金同等物に係る換算差額	248	252
現金及び現金同等物の増減額	△828	△30
現金及び現金同等物の期首残高	33,526	32,697
現金及び現金同等物の期末残高	32,697	32,667

地域別売上高構成比率



# 財務諸表の概要 (単独)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

## ■貸借対照表

(資産の部) (単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成18年3月31日	平成19年3月31日
流動資産	53,807	56,318
現金及び預金	27,282	25,354
受取手形	1,409	1,742
売掛金	14,109	13,557
有価証券	2,699	7,292
たな卸資産	5,951	6,236
その他	2,570	2,269
貸倒引当金	△215	△136
固定資産	56,708	56,387
有形固定資産	29,946	29,310
建物及び構築物	8,250	7,933
土地	14,873	14,873
その他	6,822	6,504
無形固定資産	1,781	2,023
投資その他の資産	24,981	25,052
投資有価証券	8,704	7,266
関係会社株式	9,874	10,203
その他	9,430	10,567
貸倒引当金	△92	△58
投資損失引当金	△2,936	△2,926
資産合計	110,516	112,705

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 36,263百万円

(負債の部) (単位：百万円)

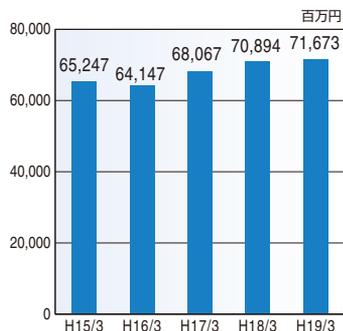
科目	前期	当期
	平成18年3月31日	平成19年3月31日
流動負債	19,456	22,708
支払手形	2,830	2,860
買掛金	10,333	12,672
一年内返済予定の長期借入金	6	5
その他	6,287	7,169
固定負債	20,577	18,067
転換社債	16,675	14,091
長期借入金	104	96
事業損失引当金	440	438
その他	3,358	3,442
負債合計	40,034	40,776

(純資産の部) (単位：百万円)

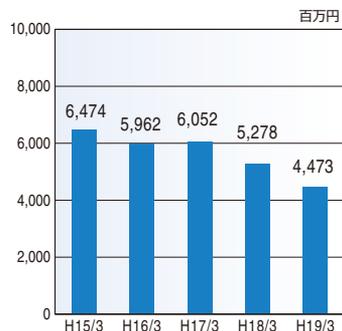
科目	前期	当期
	平成18年3月31日	平成19年3月31日
株主資本	68,276	70,222
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	41,996	44,196
自己株式	△2,614	△2,868
評価・換算差額等	2,205	1,706
その他有価証券評価差額金	2,205	1,706
純資産合計	70,481	71,929
負債、純資産合計	110,516	112,705

(注) 会社法施行に伴い、当期より従来の資本の部を純資産の部として表示しております。前期に関しましては、項目を組み替えて表示しております。

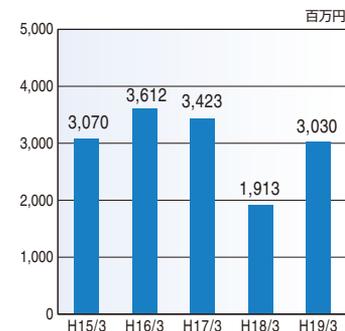
## 売上高



## 経常利益



## 当期純利益



## ■損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日
<b>売上高</b>	70,894	71,673
売上原価	40,249	40,191
売上総利益	30,645	31,482
販売費及び一般管理費	25,667	27,331
<b>営業利益</b>	4,978	4,151
営業外収益	675	706
営業外費用	374	384
<b>経常利益</b>	5,278	4,473
特別利益	18	814
特別損失	2,625	460
<b>税引前当期純利益</b>	2,671	4,827
法人税、住民税及び事業税	1,954	1,761
法人税等調整額	△1,196	36
<b>当期純利益</b>	1,913	3,030

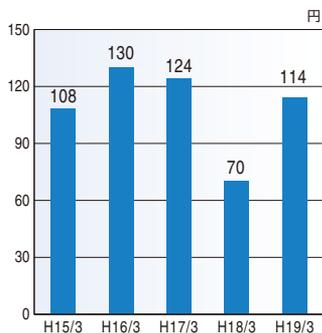
### POINT 1

#### 特別利益、特別損失

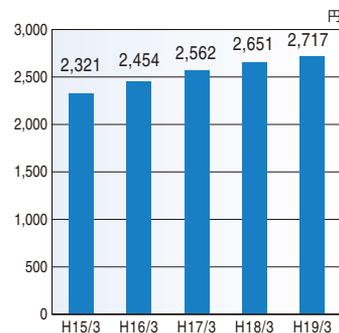
当期の特別利益、特別損失の内容は次のとおりです。

・特別利益	
抱合せ株式消滅差益	509百万円
投資損失引当金戻入益	224百万円
事業損失引当金戻入益	2百万円
貸倒引当金戻入益	79百万円
・特別損失	
投資損失引当金繰入額	437百万円
関係会社株式評価損	23百万円

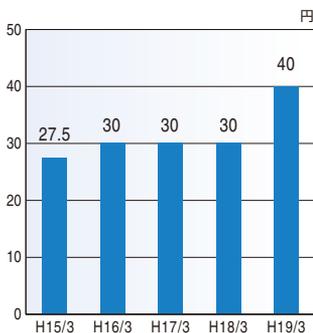
1株当たり当期純利益



1株当たり純資産



1株当たり配当金



(注)平成17年11月18日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割しております。

当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産」「1株当たり配当金」の推移を表記しております。

平成18年3月期以前の数値につきましては、従来の「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」として表記しております。

平成19年3月期の「1株当たり配当金」には、創業60周年記念配当金5円が含まれております。

## 国内

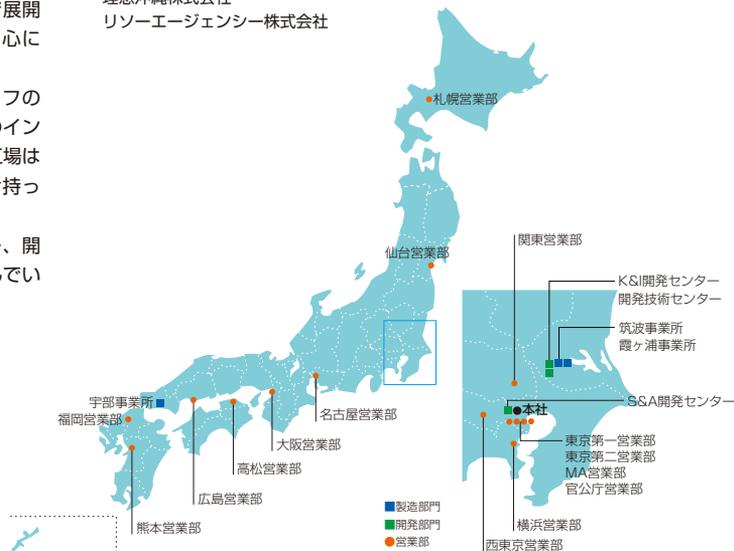
当社の販売ネットワークは15営業部48支店及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。技術スタッフの育成は、研修センターを中心に全国で行われています。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場はリソグラフのハードウェアを生産しています。霞ヶ浦工場はリソグラフのインク・マスターとオルフィスのインクを生産しています。宇部工場はリソグラフのインク・マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門はS&A開発センターとK&I開発センター、開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。

### ◆国内の主な子会社

- 株式会社理想ベック
- 理想沖繩株式会社
- リソーエージェンシー株式会社



本社



K&I開発センター



開発技術センター



霞ヶ浦事業所



筑波事業所



宇部事業所

## 海外

当社は19の海外子会社を中心に、RISO HC5500、リングラフなどの販売や、技術サポートや消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の珠海工場では、リングラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,000名以上のスタッフが、さまざまな国の人たちとのコミュニケーションを大切にし、多くのお客様をサポートしています。



### ●海外の主な子会社

- RISO, INC.
- RISO CANADA, INC.
- RISO DE MEXICO, S.A. de C.V.
- RISO EUROPE LTD.
- RISO (U.K.) LTD.
- RISO (Deutschland) GmbH
- RISO POLAND Sp. Zo.o.
- RISO FRANCE S.A.
- RISO IBERICA, S.A.
- RISOGRAPH ITALIA, S.p.A.
- RISO AFRICA (PTY) LTD.
- RISO HONG KONG LTD.
- RISO (Thailand) LTD.
- 理想 (上海) 国際貿易有限公司
- 珠海理想科学工業有限公司
- RISO KOREA LTD.
- 理想工業 (香港) 有限公司
- RISO INDIA PRIVATE LIMITED



RISO, INC.  
(アメリカ・ボストン)



RISO (Deutschland) GmbH  
(ドイツ・ハンブルグ)



RISO (Thailand) LTD.  
(タイ・バンコク)



RISO EUROPE LTD.  
(イギリス・ロンドン)



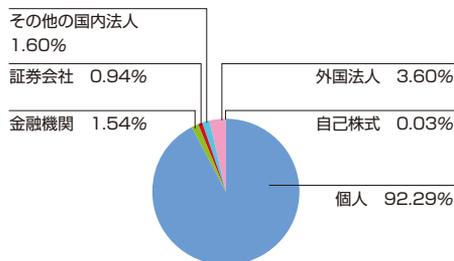
RISO FRANCE S.A.  
(フランス・リヨン)



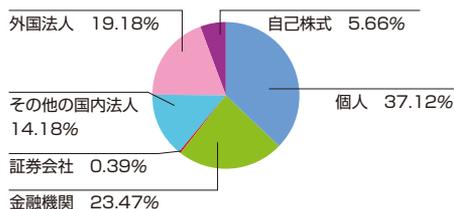
珠海理想科学工業有限公司  
珠海工場 (中国・広東省)

■発行可能株式総数	67,840,000株 (前期末比 増減なし)
■発行済株式の総数	28,053,166株 (前期末比 増減なし)
■株主数	2,997名 (平成18年3月末比474名減少)

## ■株主数比率



## ■株式数比率



## ■自己株式の取得について

平成19年2月20日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を買い受けることを決議いたしました。

◎上記決議内容に基づき、自己株式の取得を下記のとおり実施いたしました。

取得した株式数	100千株
取得価格	254百万円

## ■大株主一覧 (上位10人)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社理想社	2,470	8.80
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	1,879	6.69
理想科学工業株式会社	1,587	5.65
羽山 昇	1,347	4.80
財団法人理想教育財団	1,330	4.74
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,105	3.94
羽山 明	850	3.03
ノーザントラストカンパニー-エイブイエフシー リュウエストックスエグゼクティブペンションファンド	806	2.87
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	799	2.85
みずほ信託退職給付信託東京都民銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	783	2.79

(注) 1. みずほ信託退職給付信託東京都民銀行口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数783千株は、株式会社東京都民銀行が保有する当社株式を退職給付信託に拠出したものです。

2. シルチェスター インターナショナル インベスターズ リミテッドから、平成17年9月30日付で大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付を受けましたが、当社として当期末日現在における所有株式数の確認ができないため上記大株主一覧には含めておりません。なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりです。

株主名	持株数(千株)
シルチェスター インターナショナル インベスターズ リミテッド	1,398

(上記の持株数は、株式分割前の株数です)

3. メリルリンチ日本証券株式会社他3社の共同保有者から平成18年9月15日付で大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付を受けましたが、当社として当期末日現在における所有株式数の確認ができないため上記大株主一覧には含めておりません。なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりです。

株主名	持株数(千株)
メリルリンチ・インターナショナル	1
メリルリンチ・インベストメント・マネージャーズLtd	602
メリルリンチ・インベストメント・マネージャーズLP	419
メリルリンチ日本証券株式会社	-
計	1,023

4. スパークス・アセット・マネジメント株式会社から、平成19年1月15日付で大量保有報告書の写しの送付を受けましたが、当社として当期末日現在における所有株式数の確認ができないため上記大株主一覧には含めておりません。なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりです。

株主名	持株数(千株)
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	1,670

# 会社概要

- 商号 理想科学工業株式会社
- 本社 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号
- 創業 昭和21年(1946年)9月2日
- 会社設立 昭和30年(1955年)1月25日
- 資本金 14,114,985,384円 (平成19年3月31日現在)
- 従業員数 1,561名 (平成19年3月31日現在)
- 連結子会社 24社(国内5社 海外19社) (平成19年3月31日現在)
- 役員  
代表取締役社長 羽山 明  
専務取締役 河合 伸雄  
常務取締役 高橋 靖宏  
常務取締役 国谷多可史  
取締役 阿部 和男  
取締役 五十嵐秀隆  
取締役 石橋 英悟  
取締役 岡田 良隆  
取締役 遠藤喜八郎  
取締役 高橋 康信  
常勤監査役 波田 祥吾  
常勤監査役 谷口 隆  
監査役 鈴木 瀧夫\*1  
監査役 飯塚 良成\*1  
(平成19年6月26日現在)

(注) \*1 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## ■ お知らせ ■

### ● 株券失効制度について

株主様が所有の株券を紛失された場合、これまでは裁判所にて公示催告と除権判決という手続きでしたが、今後は、当社の株主名簿管理人である中央三井信託銀行に対して紛失株券を失効するための「株券喪失登録」を申請し、1年間異議申出が無ければ株券を再発行できることとなりました。詳しくは、中央三井信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

### ● 単元未満株式の買増制度について

1単元(100株)に満たない株式を所有されている株主様で、買増しをご希望される方は中央三井信託銀行証券代行部までお問い合わせください。また、保管振替制度ご利用の株主様は、お取引のある証券会社へお問い合わせください。

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

### ● お問い合わせ先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

フリーダイヤル ☎ 0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)  
ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

### ◆今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

## ■ 株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会 基準日	毎年6月 毎年3月31日
剰余金の配当受領株主確定日	そのほか必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日 期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター(〒168-0063) 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
銘柄コード	6413
名義書換手数料	無料
新株券交付手数料	新株券1枚につき印紙税相当額(ただし、満欄による場合は無料)
公告方法	電子公告とします。 公告掲載URLは次のとおりです。 <a href="http://www.riso.co.jp/">http://www.riso.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による 公告が出来ない場合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03(5441)6611

### ■ 株主インフォメーション

#### 支払通知書の期間が過ぎってしまった場合

お受け取り期間を経過した郵便振替支払通知書(以下、支払通知書)につきましては、郵便局でのお取り扱いができなくなります。しかし、配当金の支払開始の日から3年以内であれば、当社の株主名簿管理人である中央三井信託銀行の本店及び全国各支店においてお取り扱いいたしますので、支払通知書をご持参またはご郵送ください。なお、ご郵送の場合には、支払通知書の裏面にお支払い方法をご指定いただき、お届出印をご押印のうえ右記(株主名簿管理人事務取扱所)までご送付ください。

#### 支払通知書を紛失してしまった場合

支払通知書を紛失されましても、支払開始の日から3年以内であれば、お支払い状況を確認のうえ、配当金をお支払いすることができます。また、配当金をご指定の銀行口座へ直接お振込みする制度もご用意しております。詳細は、下記までご確認ください。

#### ■ご連絡・お問い合わせ先

当社株主名簿管理人事務取扱所  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
(証券代行事務センター)  
☎0120-78-2031(フリーダイヤル)

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.riso.co.jp/>

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル



本事業報告書は、環境にやさしい大豆インキと、再生紙を使用しております。